

# 地下鉄新駅の開業を捉えた まちづくり促進施策について



仙台市地下鉄東西線WE  
2015.12.6 開業

平成27年7月24日

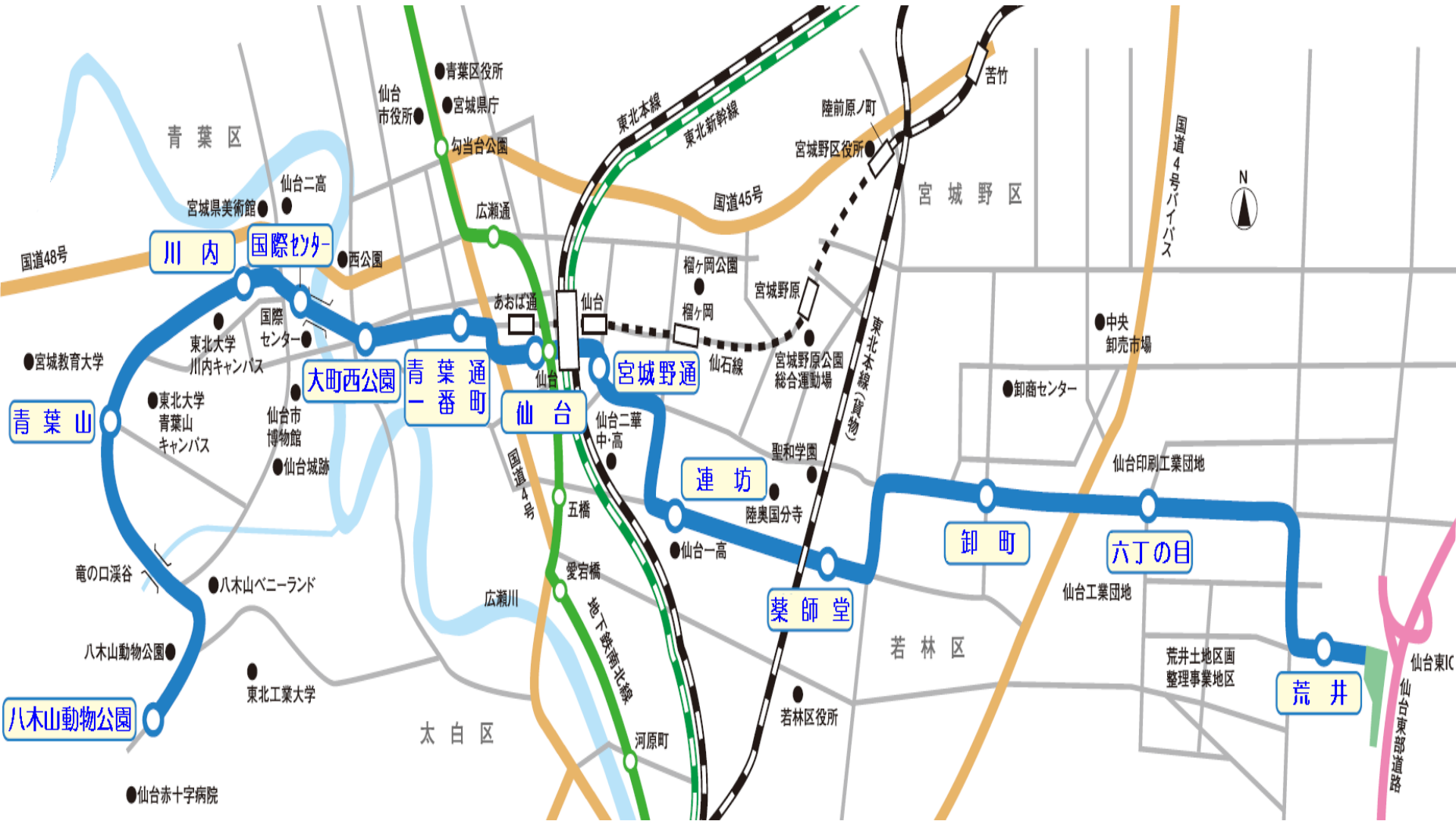
仙台市青葉区役所 副区長兼建設部長 岩崎 裕直

# 目的と背景

仙台市では地下鉄を基軸に機能集約型市街地形成を目指しており、2015年12月6日に開通する仙台市営地下鉄東西線の沿線開発として、起終点駅を中心に土地区画整理事業や復興公営住宅整備事業、交通結節点整備事業など取り組んでいるが、既成市街地内の地下鉄新駅においては、都心商業地区の一部を除き、新駅を中心とした施設の立地やまちづくりが進んでいないことが課題となっている。

このような状況から、地下鉄新駅の開業を捉えモビリティ・マネジメントツールを取り上げながら、新駅周辺のまちづくりを促進させていく。

# 地下鉄東西線路線図



13駅 営業キロ13.9km リニアモーター駆動方式 建設費2,298億円

# 主なモビリティ・マネジメントの取組

- ① 地下鉄東西線のPR
- 首都圏の開発関係企業等への周知として、東京で開催の各種学会・シンポジウムにおけるポスターセッションに出展
- ② 地下鉄新駅見学会の開催
- 新駅周辺の住民や小学校の学童を対象に新駅見学会の開催
- 上記首都圏の開発関係企業等に対する新駅見学会の開催
- ③ 地下鉄新駅周辺マップづくり
- 新駅周辺まち歩きマップを市民協働によるワークショップ形式で作成

# ①東西線のPR

東西線の沿線開発PRのために展示されたパネル



## • 東西線の沿線開発、東京でPR

• 2015年01月26日月曜日河北新報

- 仙台市は23日、東京都新宿区の早稲田大で開かれた土木学会の地下空間シンポジウムで、12月に開業予定の地下鉄東西線の沿線開発などを紹介するパネルを展示した。
- 
- 学識経験者や建設業関係者に、開業後の沿線街づくりに関心を持ってもらうのが狙い。東西線の運行区間などを紹介するパネルのほか、各駅の開発状況を記したパンフレットを参加者に配った。
- 
- 会場で説明に当たった岩崎裕直青葉区副区長は「専門家に関心を持ってもらい、今後本格化する沿線開発につなげたい」と話した。

## ②地下鉄見学会

小学生の見学会  
駅周辺近傍の小  
学校6年生を対象  
に見学会を実施

- 大町西公園駅での見学模様





## ②地下鉄見学会

- 青葉山駅での見学模様

地元住民(町内会)の老若男女の皆さんが見学



## ②地下鉄見学会

首都圏の開発関係  
企業に対する民間  
施設や地下駐輪場  
の合築新駅見学会  
の開催(8月31日実  
施予定)

参加者募集中!!

協力:土木学会地下  
空間研究委員会

- 青葉通一番町駅(工事中)





### ③地下鉄駅周辺 マップづくり

まち歩きに市民参加を  
得て実施

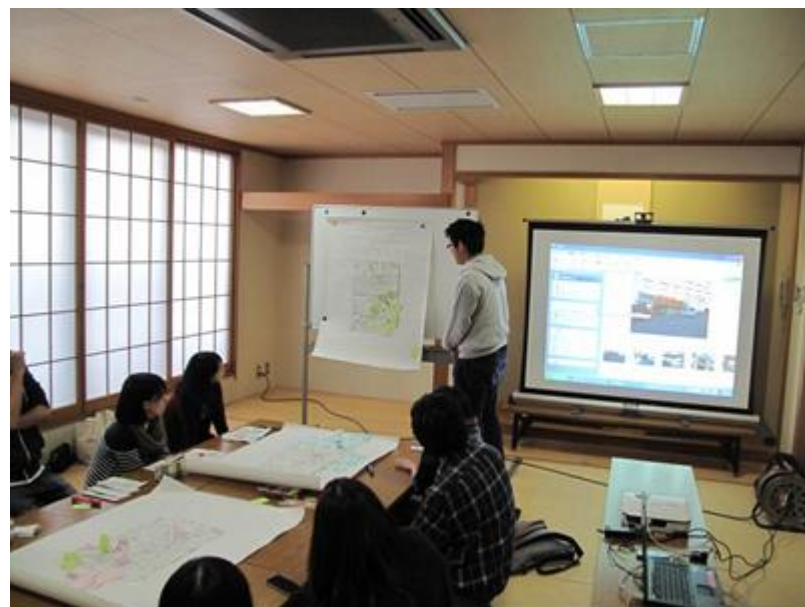
- 川内駅周辺



### ③地下鉄駅周辺 マップづくり

市民参加のワーク  
ショップを実施

- 川内駅周辺



## ・効果について

- 首都圏でのPRについて、地元マスコミが取り上げていた。また見学会にも新駅周辺の住民の参加も増えている。今後試乗会などで住民の新駅に対する認識がさらに高まり、まちづくりへの醸成につながる。
- 開発関係企業関係者にも見学会を開催することで新駅周辺開発に対する関心が高まり、まちづくりの各種機能の立地誘導が期待される。

# まとめ

- 地下鉄の新駅はどちらかと言うと出入口のみで目立たないところが弱点だが、上記取組により新駅に対する認識が高まり、駅周辺まちづくりの機運が盛り上がる。
- 12月6日開業を捉えたイベントが今後予定されており、さらなる公共交通利用促進・沿線まちづくり推進に向けての気運が高まるものと期待している。